

国独評委（交）

平成13年度業務実績評価：独立行政法人電子航法研究所

業務運営評価

項 目	着 実 況 に 実 施 状 況 に 実 施 状 況 に 実 施 状 況	着 実 況 に 実 施 状 況 に 実 施 状 況 に 実 施 状 況	着 実 況 に 実 施 状 況 に 実 施 状 況 に 実 施 状 況	その他のコメント
1. 業務運営の効率化に関する目標を達成するためとるべき措置 (1) 研究実施体制の効率化				4つの横断的研究グループを編成し、研究テーマ間の連携、施設・情報の共有化等について検討を実施したなど、中期計画の達成に向け着実な実施状況にあるといえる。
(2) 人材活用に関する計画				全ての研究職員を対象に過去3年間の業績報告をもとに研究者個人の業績評価基準策定用データベースを作成したなど、中期計画の達成に向け着実な実施状況にあるといえる。
(3) 業務運営の効率化			業務運営の効率化に向けた検討体制が整備されているが、研究業務の効率化に向けた自己評価の体制についてはなお一段の整備が必要である。	
(4) 研究所施設・設備利用の効率化				電波無響室の高度化を通じた性能向上により、実験・準備作業にかかる時間が短縮され、効率的な利用を実現したなど、中期計画の達成に向け着実な実施状況にあるといえる。

<p>2. 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>(ア) 重点研究開発課題の設定</p>				<p>「データ通信対応管制情報入出力システムの研究」等、13件の課題を重点研究開発課題として位置づけ、技術課題の抽出、その課題を解決したなど、中期計画の達成に向け着実な実施状況にあるといえる。</p> <p>研究所としての研究ポテンシャルを把握することにより、研究開発課題の更なる重点化を期待するという意見があった。</p>
<p>(イ) 基盤的研究</p>				<p>「航空衛星データ通信方式の研究」等、14件の基盤的研究課題を実施したなど、中期計画の達成に向け着実な実施状況にあるといえる。</p>
<p>(ウ) 国の推進するプロジェクト等への参画</p>				<p>駿河湾上空で発生したニアミス事故の調査に参画し、航空事故調査活動に技術的側面から貢献するなど、中期計画の達成に向け着実な実施状況にあるといえる。</p>
<p>(エ) 競争的資金の獲得</p>			<p>研究所内部分の「競争的資金」の創設計・配分に留まっておらず、中期計画に謳う「競争的資金の獲得」の趣旨とは異なるものである。</p>	<p>競争的資金については、当研究所における業務の優先度、必要性等を十分に考慮した上で、獲得に向けた努力を期待する。</p>
<p>(オ) 研究者の資質向上</p>				<p>所内留学制度は未整備ではあるが、留学希望者の審査の上、1名の海外の大学に1年間の出張派遣のしななど、中期計画の達成に向け着実な実施状況にあるといえる。</p>

(カ) 共同研究・受託研究等				「ヘリコプタの障害物探知及び衝突警報システムに関する研究(日仏)」をはじめ、新規共同研究を9件実施したなど、中期計画の達成に向け着実な実施状況にあるといえる。
(キ) 国際交流・貢献				国際民間航空機関(ICAO)の管制間隔・空域安全パネル(SASP)等に出席し、国際標準策定作業に貢献したなど、中期計画の達成に向け着実な実施状況にあるといえる。国際標準策定への具体的貢献の業務実績報告書への明示を期待するという意見があった。
(ク) 人材交流			現時点では管制官以外の人材交流等が予定的に管制官以外の人材分野融合的取り組み等が懸念される。	
(ケ) 研究成果の普及、成果の活用促進等				所外発表を180件実施し、研究成果を空港整備等の整備計画や無線設備規則の改正等に反映したなど、中期計画の達成に向け着実な実施状況にあるといえる。
3. 予算(人件費の見積もりを含む。)、収支計画及び資金計画				
4. 短期借入金の限度額	-			平成13年度は該当なし
5. 重要な財産を譲渡し、又は担保にする計画	-			平成13年度は該当なし

6. 剰余金の使途	-			平成13年度は該当なし
7. その他主務省令で定める業務運営に関する重要事項 (1) 施設及び設備に関する計画				電波無響室高度化整備は終了し、構内給水設備更新工事については想定し得なかった障害物により14年度に繰り越しとなったが、中期計画の達成には支障は無く、中期計画の達成に向け着実な実施状況にあるといえる。
(2) 人事に関する計画				年度末の常勤職員数を年度当初と同数にしたなど、中期計画の達成に向け着実な実施状況にあるといえる。
判 断	順 調		おおむね順調	要 努 力

- < 記入要領 > ・ 該当欄に を付す。着実な実施状況にない欄に を付した項目においては、該当欄に理由を記述する。
- < 判断要領 > ・ 着実な実施状況にある欄のすべての項目について の場合には順調欄に を付し、 の項目が7割以上の場合にはおおむね順調欄に を付し、 の項目が7割未満の場合には要努力欄に を付す。
- ・ なお、その他委員からの特筆すべきコメント等があれば、下欄に記述する。

【その他のコメント】
特になし。

国独評委（交）

平成13年度業務実績評価：独立行政法人電子航法研究所

個別業務評価（アカウントビリティ評価）

判断の観点	判断
主要業務が目的志向的に企画立案・実施されているかどうかについて、自己評価において十分な説明がなされているか。	良好 ・ 要努力
国民への説明責任を果たす上で、自己評価結果がわかりやすいものになっているか。	
適切な自己評価体制や実施方法が確立されているか。	

< 記入要領 >

- ・上記 から の判断の観点を考慮し、総合的に判断。
- ・「法人の行う自己評価が説明責任を果たしているものかどうか」について、特段の問題なしと認められる場合には、判断欄の良好に を付し、それ以外の場合には判断欄の要努力に を付す。
- ・判断欄の要努力に を付す場合には、下欄にその理由を記述する。

【要努力と判断した理由】

・なお、その他委員からの特筆すべきコメント等があれば下欄に記述する。

【その他のコメント】

説明責任は十分に果たされているが、自己評価システムの更なる充実を期待する。

国独評委（交）

平成13年度業務実績評価：独立行政法人電子航法研究所

総合的な評価

業務運営評価		個別業務評価 (アカウントビリティ評価)		総合的な評価
順調	2	良好	①	3
おおむね順調	①			②
要努力	0	要努力	0	1
				0

【自主改善努力について】

業務実績報告書に記載されている自主改善努力については、役員と幹部職員との定期的な情報・意見交換の場として理事懇談会を設置し、経営方針の徹底に努めたり、年度計画のアクション・アイテム・リストを作成し、研究の進捗状況の管理に努めるなど自主改善の努力が意欲的かつ前向きで、優れた実践事例として外部にもアピールできるような特別の事項であるため、「相当程度の実践的努力が認められる」とする。

・なお、その他委員からの特筆すべきコメント等があれば下欄に記述する。

【その他のコメント】

特になし。